

# 古文文法 まる見え1枚シート

これ1枚で全体像 — 助動詞・動詞・形容詞・助詞を「訳し方つき」でまとめました

★★★ 入試超頻出

★★ よく出る

★ 余裕があれば

💡 覚え方

▶ 例文

① まず助動詞

▶ ② 動詞の活用

▶ ③ 形容詞・形容動詞

▶ ④ 助詞

※点数に直結する順番に並べています。まず①②を固めるのが合格への近道。

読む順：左の列を上から順に ▶ 終わったら 右の列へ (見出しの番号が順番です)

## 1 助動詞27 — 接続・意味・訳し方

💡 助動詞は「上の語の形」で接続を見分ける。意味は前後の文脈で決める (1語に複数の意味アリ)。

助動詞	意味 = 訳し方	頻出
▼ 未然形につく		
る・らる	受身「～れる・～られる」／尊敬「お～になる」／自発「自然と～れる」／可能「～できる」	★★★★
す・さす・しむ	使役「～せる・～させる」／尊敬「～なさる」	★★★★
ず	打消「～ない」	★★★★
む (ん)	推量「～だろう」／意志「～よう」／勧誘「～ませんか」／適当「～のがよい」／婉曲「～ような」／仮定「もし～なら」	★★★★
むず (んず)	「む」と同じ (推量・意志…)	★
じ	打消推量「～ないだろう」／打消意志「～まい」	★★
まし	反実仮想「もし～だったら、…だろうに」	★★
まほし	希望「～たい」	★
▼ 連用形につく		
き	過去 (自分が体験)「～た」	★★★★
けり	過去 (人から聞いた・気づき)「～た」／詠嘆「～だなあ」	★★★★
つ・ぬ	完了「～た・～てしまった」／強意 (確述)「きつと～・確かに～」	★★★★
たり・り	完了「～た」／存続「～ている・～てある」 ※「り」はサ変未然・四段已然につく	★★★★
けむ (けん)	過去推量「～ただろう」／過去の原因推量「～たのだから」／伝聞・婉曲	★★
たし	希望「～たい」	★
▼ 終止形につく (ラ変型には連体形)		
らむ (らん)	現在推量「(今ごろ)～ているだろう」／現在の原因推量「(どうして)～なのだろう」	★★
べし	推量「～にちがいない」／意志「～よう」／可能「～できる」／当然「～はずだ・べきだ」／命令「～せよ」／適当「～のがよい」	★★★★
まじ	「べし」の打消：打消推量「～ないだろう」／打消意志「～まい」／不可能「～できない」／打消当然「～はずがない」／禁止「～てはならない」	★★
らし	推定 (根拠あり)「～らしい」	★
めり	推定 (見た目)「～ように見える」／婉曲「～ようだ」	★
なり	伝聞「～だそうだ」／推定 (音・声から)「～ようだ」	★★
▼ 体言・連体形につく		
なり	断定「～だ・である」／存在「～にある」	★★★★
たり	断定「～だ・である」(漢文訓読調)	★
ごとし	比況「～のようだ」／例示「～などのようだ」	★

▶ 例文：今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。＝～いたそうだ (けり＝過去・伝聞)。／京には見えぬ鳥なれば＝見えない鳥 (ぬ＝打消「ず」の連体形)。

💡 「べし」の6つの意味は「すい・かん・とう・てき・めい (推量・可能・当然・適当・命令) + 意志」。強い気持ちで言い切る語と覚える。

## 2 動詞の活用 9種 — 見分け方つき

💡 見分けの基本：動詞に「ず」を付け、直前の音がア段→四段/イ段→上二段/エ段→下二段。これで大半が判定できる。

種類	見分け方・代表語	種類	代表語 (暗記)
四段	「ず」でア段 (書かず・思はず)	カ変	来 (く)
上二段	イ段だけ。「ひ・い・き・に・み・ぬ」(見る・着る・似る・煮る・居る…)	サ変	す・おはす
上二段	「ず」でイ段 (起きず・過ぎず)	ナ変	死ぬ・往 (い) ぬ
下二段	「蹴る」ただ1語	ラ変	あり・をり・侍り・いますがり
下二段	「ず」でエ段 (捨てず・受けず)		

活用形＝未然・連用・終止・連体・已然・命令

## 3 形容詞・形容動詞

形容詞	ク活用 (高し→高く・高し・高き・高けれ) / シク活用 (うれし→うれしく・うれし・うれしき・うれしけれ)。「し」が付けばシク活用。助動詞につなぐ時はカク活用 (～から・かり・かる・かれ)。
形容動詞	ナリ活用 (静かなり) / タリ活用 (堂々たり＝漢文調)。「～だ」と訳す。

## 4 助詞 5種 — 訳し方つき

格助詞 (体言につく)

- が・の＝主格「～が」／連体「～の」／同格「～で」／準体「～のもの」
- を「～を」・に「～に (場所・時・相手)」・へ「～へ」
- と「～と」・より「～から・～よりも」・から「～から」・にて「～で」・して「～で (手段)」

接続助詞 (活用語につく)

- ば＝未然+ば「もし～なら」(仮定)／已然+ば「～ので・～と」(確定)
- とも「たとえ～ても」・ど・ども「～けれど」
- で「～ないで」・つつ「～ながら」・ながら「～ながら・～のに」

係助詞 (係り結び)

💡 ぞ・なむ・や・か → 文末が連体形/こそ → 已然形。「は・も」は結びに影響なし。や・か＝疑問「～か」/反語「～だろうか、いや～ない」。

副助詞

- だに「せめて～だけでも・～さえ」・すら「～さえ」・さへ「～までも」
- のみ「～だけ」・ばかり「～ほど・～だけ」・など「～など」・まで「～まで」

終助詞 (訳し方が大事)

- な～そ「～するな」(禁止)・な「～するな/～なあ」
- ばや「～たい」(自分の願望)・なむ「～してほしい」(他への願望)
- もがな・もが「～があればなあ」(願望)・かな・かも「～だなあ」(詠嘆)
- か・や「～か/～だろうか」・かし「～よ・～ね」(念押し)